

「二川トレジャー」とは

「二川トレジャー」とは、総合的な学習の時間のカリキュラムに位置づけられた、地域を学びの場として展開される問題解決的な学習である。二川中学校で過ごす3年間で「3つの力（①問いを生む力、②考えを深める力、③学びを行動に移す力）」を活用する「二川トレジャー」に取り組んでいく。

二川は、かつて宿場町として栄え、その後、小淵志ちの尽力により玉糸の町として、昭和に入ると、日東電工や神鋼電機などの進出により内陸工業地域として発展してきたという歴史がある。校区には、のんほいパークや二川宿本陣資料館、多くの重要文化財が収蔵される船形山普門寺などが点在している。また、自然も豊かである。加えて、地域を盛り上げようと活動している大人が多数いる。二川には恵まれた教育資源、すなわち「宝」が眠っている。教師はこの「二川の宝さがし」を、「二川トレジャー」としてカリキュラムの中に意図的に配置し、「3つの力」を活用する場を設定する。「二川トレジャー」を通して、多様な価値観や生き方を学ぶ機会とするとともに、地域の問題を追究する場とした。そして、発達段階に応じた各学年のテーマ・追究課題を次のように設定した。



学 年	学年のテーマ	追 究 内 容
1 年	二川に学ぶ 【地域発掘】	地域の歴史や特徴、よさを知り、二川の魅力を宝としてまとめ、地域に対する愛着やほこりを感じる
2 年	二川で生きる 【地域貢献】	地域を支える人々と出会い、二川に対する思いや願いに触れることで、適切な勤労観の芽生えや地域貢献のきっかけとする
3 年	二川を語る 【地域参画】	地域の自慢や問題を見だし、二川や豊橋をよりよくしようと動きだす

教師は「二川トレジャー」において、生徒たちが身につけた「3つの力」を活かすことができるように環境を整え、思考の深まりを促していく。そのために、以下の3つの視点から単元を構想する。

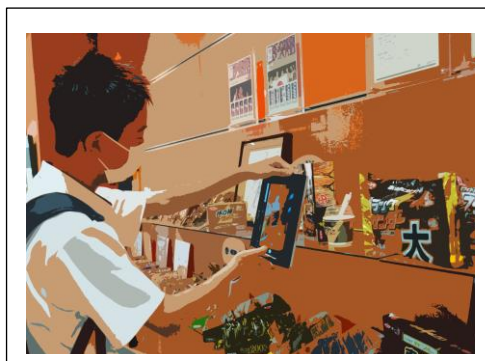
地域の教育資源の活用	協働型の問題解決的な学習	教師によるコーチング
活動に取り組むにあたり必然性と自分以外の人役に立つ貢献性の二つを体感できる「人・もの・こと」について追究させる。	「未来の創造」に向け、生徒たちの「未来を創る担い手」としての意識の向上と、自己有用感を味わわせる。	教師は「どう教えるか」ではなく、「どうしたらよいアイデアが浮かぶか」、「どう思考を深化させるか」という立場で生徒に寄り添う。

二川トレジャー①二川に学ぶ【地域発掘】…1年生での取り組み

1年生では、うまく「問い」に出会えなかったり、「問い」に出会っても、それに対する追究のスキルが身につけていないことが想定される。

そこで、「二川トレジャー①」では、追究の視点を得られるように、学年共通のテーマ「二川の宝さがし」を設定し、同一日に希望者参加のコース別分散体験学習に取り組む。「二川の宝」を歴史、文化、自然、環境など、さまざまな視点で探り、郷土二川のよさを「問い」として見いだす活動に取り組む。

個々の内面に発生した「問い」を、9教科の授業や「スキトレ」で培いつつある基礎スキルを生かして追究を進められるようにする。こうした活動を通して、生徒たちが「二川トレジャー」の楽しさを感じ、自分の「問い」の解決に向けた追究活動に専念できる環境を整えていく。



二川トレジャー②二川で生きる【地域貢献】…2年生での取り組み

2年生では、職業体験や、二川宿本陣まつりへの参加をきっかけに、実際に郷土二川の発展のために尽力している地域のかたがたの生きかたに触れる活動を設定する。地域をよりよくしようと地域に貢献することこそが「二川の宝」である。郷土二川に生きるかたがたの思いや願いを知り「自分たちにもできること」を具体的に考え、行動に移していくことの価値を考える。同時に、二川が抱える問題・課題に気づく生徒がいることも想定される。自ら「問い」に気づけたことを肯定的に価値づけるなどして、問題解決に向けて動き出す姿を期待している。



二川トレジャー③二川を語る【地域参画】…3年生での取り組み

3年生では、生徒が自分で学びを創り上げていくことに重きを置き、「未来の創造～これからの社会で私たちができることは何か～」をテーマに地域に参画していく。生徒たちが各教科や「二川トレジャー①②」で身につけた「問いを生む力」、「考えを深める力」、「学びを行動に移す力」を生かせる単元を構想する。生徒たちは地域が抱える課題に目を向け、個々に「問い」を見つけ、見通しをもち、地域をよりよくしようと、問題解決に挑戦する。現地調査やその道のプロへのインタビュー、アンケート調査等、個々に必要となる調査を行っていく。教師は、特別なことでなくても講じることなく、環境の整備と時間の確保に努め、生徒たちが見通しや解決の糸口を見つけられるよう支えていく。



「二川トレジャー」三年間の系統的な追究サイクル

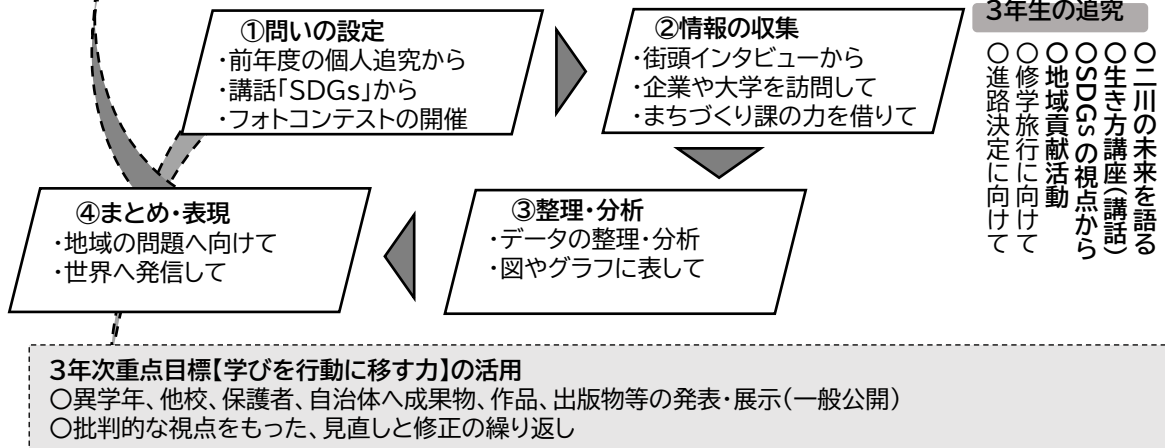
「自らの意志で学び続け、未来の創造に向けて動き出す生徒」

問いを生む力

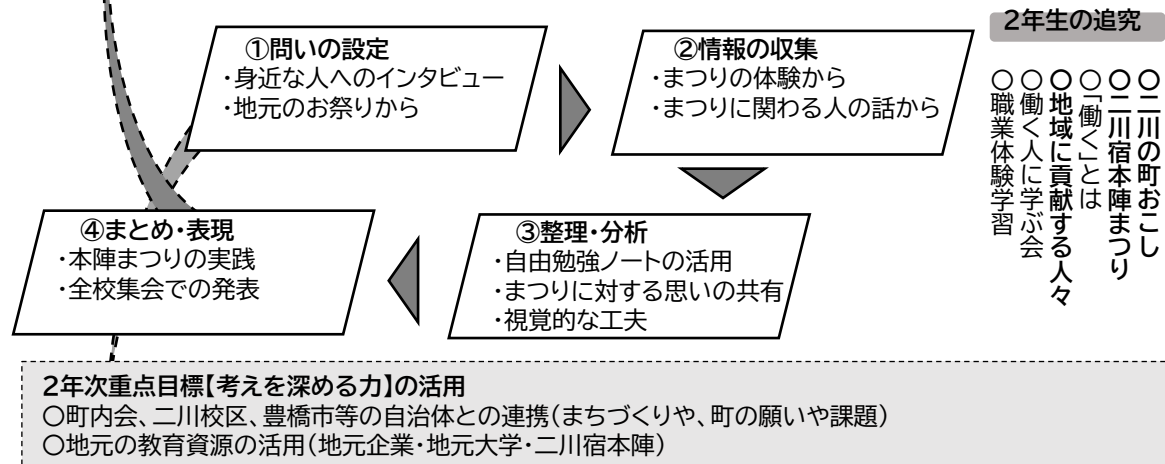
考えを深める力

学びを行動に移す力

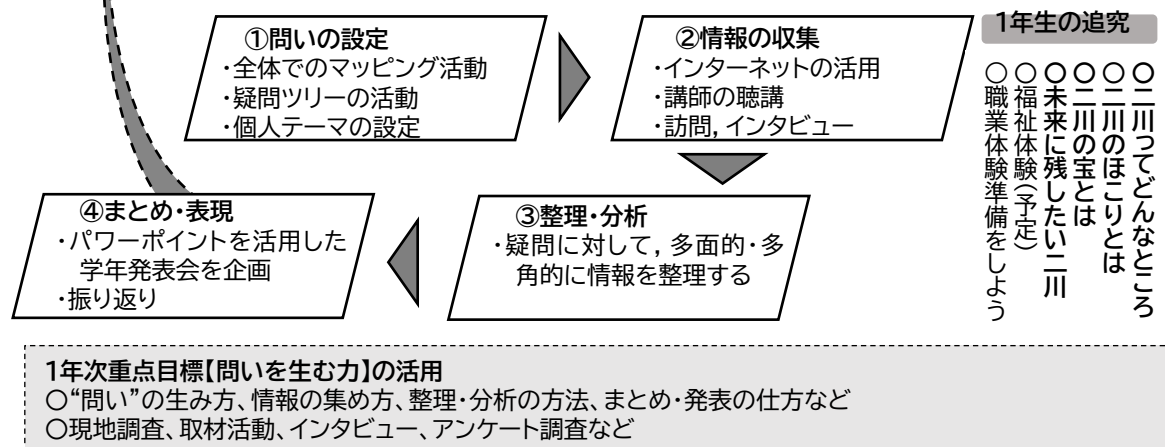
三年 二川を語る 【地域参画】



二年 二川で生きる 【地域貢献】



一年 二川に学ぶ 【地域発掘】



他教科で身につけた資質・能力を活用しつつ、探究的に問題を解決することのできる単元を、二川中独自のもの、つまり「二川トレジャー」として計画的に設定していく。「学びの場づくり」とは、「①問いの設定、②情報の収集、③整理分析、④まとめ・表現」の4つのプロセスを経て、問題解決的な学習が発展的に繰り返される一連の学習活動」と捉える。

「二川に学ぶ」～二川の宝って何だろう～

概要：学校と社会をつなぐ最も身近なフィールドは地域である。地域には、教育資源が豊富にある。そうした教育資源との出会いを通して、二川のよさや自慢を見つけ、未来に残したい二川の魅力を探る。生徒は「二川トレジャーハンター」として「二川の宝」を、こだわりをもって追究する。実生活や社会とつながることで、将来の自己の生き方を考えはじめる一歩を踏み出す。

	段 階	活 動	生徒の様子	コーチング	
① 見いだす段階	準 備	<ul style="list-style-type: none"> ・二川はどんなところ ・小学校を紹介しよう ・四つの探究プロセスを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の考えに触れる ・現実を見つめ、興味や関心を高める ・今年の総合的な学習の時間について理解する 	<input type="checkbox"/> 論理的に考える <input type="checkbox"/> 問題に気づく <input type="checkbox"/> 社会性の芽生え <input type="checkbox"/> 俯瞰する	「今現在はどう」 「身の回りはどう」 「未来はどうなるという」
	目標決定	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「二川の宝って何だろう」を知る ・マッピング活動 ・「問い」から「具体的な目標」をつくる ・グループをつくり目的、目標を決める 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間のテーマを知る ・情報を整理、共有する ・「なぜ〇〇なのか」などの「問い」を生む ・「問い」から目的「〇〇を知りたい」をつくる ・目的を叶えるための目標（そのために〇〇をする）を考える ・同志を集める 	<input type="checkbox"/> 問いを生む <input type="checkbox"/> 目標を設定する <input type="checkbox"/> 協働する意識 <input type="checkbox"/> 主体性の芽生え	「それは何のために」 「そうするために、具体的には何をする」
	計画立案	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間でできることに優先順位をつけ計画する 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成するために必要な情報や作業を洗い出す ・時間配分や優先順位、担当者を決める 	<input type="checkbox"/> 先を見通す <input type="checkbox"/> 結果を想像する <input type="checkbox"/> 適切な判断 <input type="checkbox"/> 礼儀やマナー	「絶対にやらなければならないことは」 「優先順位を決めてみたら」
② 解き明かす段階	情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク ・アンケート調査 ・インタビュー活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク（事例・現状・仕組み・本音） ・書籍、インターネット ・インタビュー ・アンケート、手紙、ファックス ・体験、観察、実験 	<input type="checkbox"/> 情報収集する <input type="checkbox"/> 見極め判断する <input type="checkbox"/> 分類する <input type="checkbox"/> 多面的な見方	「その情報はどこにあるの」 「あなたが使えるものは何」 「だれの意見が必要」
	解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・未来に残したい二川の宝を選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・比較する ・根拠を明らかにする ・判断する 	<input type="checkbox"/> 分析・比較する <input type="checkbox"/> 発想する <input type="checkbox"/> 柔軟に対応する <input type="checkbox"/> 創造する	「他の意見や見方はないかな」 「どんな方法で伝えたいかな」 「すでに取り組みされていることはない」
	制 作	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション準備 ・制作物 	<ul style="list-style-type: none"> ・得た情報を、図やグラフに表してみる ・わかりやすく端的な文章に表す ・視覚にうったえるような制作物 	<input type="checkbox"/> 表現する <input type="checkbox"/> 情報を活用する <input type="checkbox"/> 図・表・グラフを活用する	「だれのためにプレゼンするの」 「効果的に伝える方法は何かがある」
③ 動きだす段階	プレゼン再構築	<ul style="list-style-type: none"> ・説得力のある表現にする ・自らの改善点 ・考えの再構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達（学級・学年）に対して提案をする ・評価や感想をもらう ・提案したい対象（学校・地域・自治体）を広げる 	<input type="checkbox"/> コミュニケーション <input type="checkbox"/> 聞き手を意識する <input type="checkbox"/> 他者を評価する <input type="checkbox"/> 他者から学ぶ	「よりよい表現方法は」 「その理由は何？原因はなに」
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオのまとめ ・自分の成長や身についた力の自覚 ・新たな「問い」を生み出す 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果をレポートにまとめる 	<input type="checkbox"/> 成長を評価する <input type="checkbox"/> 自己有能感 <input type="checkbox"/> 自己有用感 <input type="checkbox"/> 成長する意欲	「成長したことは」 「この経験をどこで生かしたい」 「新しく解き明かしたいことは」

問いを生む力

考えを深める力



行動に移す力

【1年生の実践】

1 単元について

本単元では、郷土の誇りをもてるように二川校区のよさを追究していく。個人で決めたテーマを基に個人調べを行い、より二川校区を知ることで、次年度以降の総合的な学習の時間「二川で生きる」「二川を語る」の基礎を築いていく。二川校区で誇れるものをテーマに個人追究を行っていき、中間発表や質疑応答など、仲間とかかわりあったり、インターネットでは調べられない現場の声を聞いたりすることを通して、更に追究を深めていく。二川校区に誇りを持ち、郷土愛を深める生徒の姿を期待したい。

2 てだてと考察

1年 「二川に学ぶ」－二川の宝って何だろう－ (50時間)											
年間指導計画	主な活動										
<p>【1学期】</p> <p>■二川ってどんなところ <オリエンテーション></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学んだこと ・学級での交流 <p>■二川の宝って何だろう <テーマを決めよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッピング活動・・・・・・・・A ・調査計画を立てる <p><調査をする></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネット ・インタビュー活動 ・現地調査 	<p>【A】マッピング活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で地域に関する問いをもてるように、マッピング活動を行い、疑問を派生させていく疑問ツリーを行う場を設けた。 <p>⇒生徒は「問い」を生むために、物事を、多面的、多角的な視点や因果関係の視点など、各教科で身につけた手法を意識して「人・もの・こと」を捉え直していった。振り返りには「疑問に思う・より深く知ろう・何個も知りたい」など、「問い」が生まれたことがわかる記述が多く見られた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>生徒の振り返り</p> <p>今日は疑問ツリーを書いていました。一つ疑問に思ったことから一つ疑問を作 って、より深く知ろうと思ったり、何個も知りたいことができたので、はやく調べたいな と思いました。</p> </div>										
<p>【2学期】</p> <p>■二川の宝って何だろう <調査報告をしてみよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の調査報告を聞く <p><再調査をする></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネット ・インタビュー活動 ・現地調査 ・体験活動 <p>・・・・・・・・B</p> <p>・ゲストティーチャーによる講話</p> <p><まとめをしよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットにまとめる 	<p>【B】インタビュー活動・現地調査・体験活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の問いを解き明かすために追究を進め、調べたことと実際の物事との差異を知ることができた。解き明かす過程で生まれた疑問を解明するために、個人テーマで挙げた場所などを訪問し、インタビューする機会を設ける。 <p>⇒本年度の現地調査場所</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>のんほいパーク</td></tr> <tr><td>中原屋</td></tr> <tr><td>ヨコタサイクル</td></tr> <tr><td>岩屋観音</td></tr> <tr><td>伏見稲荷</td></tr> <tr><td>二川本陣資料館</td></tr> <tr><td>妙泉寺</td></tr> <tr><td>岩屋緑地</td></tr> <tr><td>豊橋市視聴覚センター</td></tr> <tr><td>龍守院</td></tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>	のんほいパーク	中原屋	ヨコタサイクル	岩屋観音	伏見稲荷	二川本陣資料館	妙泉寺	岩屋緑地	豊橋市視聴覚センター	龍守院
のんほいパーク											
中原屋											
ヨコタサイクル											
岩屋観音											
伏見稲荷											
二川本陣資料館											
妙泉寺											
岩屋緑地											
豊橋市視聴覚センター											
龍守院											
<p>【3学期】</p> <p>■二川の宝って何だろう <発表会をしよう>・・・・・・・・C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年（全校）発表会をする <p>■二川で生きるに向けて <職場体験の準備をしよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に合う職業 ・職業調べ ・働くことについて考えよう 	<p>【C】発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすく伝えるためタブレットを用いてまとめを行い、個人で作成したスライドで発表を行う場を設ける。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>										

3 成果と今後の課題

マッピング活動や校区の映像クイズを用いて、二川校区の知らなかった一面に気づかせることで、新しい問いが次々と生まれる生徒が多かった。問いが生まれるたびに「早く知りたい」「地域のことを調べたい」と振り返りに記述し、主体的に考えを深めようとする姿が見られた。テーマとの出会いの段階で、「問い」とともに、生徒の願いや思いが引き出せるようなテーマを設定することで、「問い」に多様性をもたせたい。

「二川で生きる」～働くことって何だろう～

概要：本陣まつりは、二川を盛り上げようと地域の人々が始め、毎年11月に行われている行事である。本校からは2年生が参加し、まつりの活性化に貢献している。しかし、実際は実行委員のかたの高齢化や後継者不足など、深刻な問題を抱えており、存続が危ぶまれている。地域のかたの思いや願いに触れることで、生徒たちの地域に貢献したいという気持ちを育てる。

	段 階	活 動	生徒の様子		コーチング
① 見 い だ す 段 階	準 備	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人へのインタビュー 職業調べ 「働く人に学ぶ会」地域ボランティアのかたの話を知る 四つの探究プロセスを知る 	<ul style="list-style-type: none"> 「働く理由」について知る 働く人のやりがいや思いを知る 地域のために無償で働くという生き方を知る 今年の総合的な学習の時間の進め方について理解する 	<input type="checkbox"/> 問題に気づく <input type="checkbox"/> 社会性の芽生え <input type="checkbox"/> 俯瞰する	「今現在はどう」 「身の回りはどう」 「未来はどうなるという」
	目標決定	<ul style="list-style-type: none"> 本陣まつり実行委員会のかたの話を知る 「問い」から「具体的な目標」をつくる 中学生が制作した地域のPR動画を視聴する 	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員のかたの気持ちを知る 後継者不足であることを知る 「なぜ〇〇なのか」「〇〇が危ない」などの「問い」を生む 「問い」から目的「今の〇〇はこうだから、こうしたい」をつくる 目的を叶えるための目標（そのために〇〇をつくる）を考える 	<input type="checkbox"/> 問いを生む <input type="checkbox"/> 目標を設定する <input type="checkbox"/> 協働する意識 <input type="checkbox"/> 主体性の芽生え	「それは何のために」 「そうするために、具体的には何を」
	計画立案	<ul style="list-style-type: none"> 限られた時間でできることに優先順位をつけ計画する 	<ul style="list-style-type: none"> 目標を達成するために必要な情報や作業を洗い出す 時間配分や優先順位、担当者を決める 	<input type="checkbox"/> 先を見通す <input type="checkbox"/> 結果を想像する <input type="checkbox"/> 適切な判断 <input type="checkbox"/> 礼儀やマナー	「絶対にやらなければならないことは」 「優先順位を決めてみたら」
② 解 き 明 か す 段 階	情報収集	<ul style="list-style-type: none"> 問題の現状を探る 解決策を生み出す手がかりを探す フィールドワーク インタビュー活動 	<ul style="list-style-type: none"> 体験、観察、実験 街頭インタビュー アンケート、手紙、ファックス 書籍、インターネット 	<input type="checkbox"/> 情報収集する <input type="checkbox"/> 見極め判断する <input type="checkbox"/> 分類する <input type="checkbox"/> 多面的な見方	「その情報はどこにあるの」 「あなたが使えるものは何」 「だれの意見が必要」
	解決策	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決する策を生み出す 本陣まつりの宣伝 本陣まつりの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的に「こうすればいい!」という考えを生み出す 小学校で覚えた「手踊り」を披露する 「奴踊り」を披露したい PR動画を作りたい 	<input type="checkbox"/> 分析・比較する <input type="checkbox"/> 発想する <input type="checkbox"/> 柔軟に対応する <input type="checkbox"/> 創造する	「他の意見や見方はないかな」 「どんな方法で伝えたいのかな」 「すでに取り組みされていることはない」
	制 作	<ul style="list-style-type: none"> ミニ本陣まつりの実施 PR動画の制作 	<ul style="list-style-type: none"> 熊谷さんたちに踊りを教えてもらう 練習をする 動画の内容を検討する 	<input type="checkbox"/> 表現する <input type="checkbox"/> 情報を発信する	「だれのためにプレゼンするの」 「効果的に伝える方法は何かがある」
③ 動 き だ す 段 階	プレゼン再構築	<ul style="list-style-type: none"> ミニ本陣まつりを開催する 動画をアップする 自らの改善点 考えの再構築 	<ul style="list-style-type: none"> 伝統を引き継ぐことについて考える まつりの意義について考える 地域のかたや保護者に披露する 評価や感想をもらう 	<input type="checkbox"/> コミュニケーション <input type="checkbox"/> 他者を評価する <input type="checkbox"/> 他者から学ぶ	「よりよい表現方法は」 「その理由は何?原因は何」
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長や身についた力の自覚 新たな「問い」を生み出す 	<ul style="list-style-type: none"> 成果をレポートにまとめる 	<input type="checkbox"/> 成長を評価する <input type="checkbox"/> 自己有能感 <input type="checkbox"/> 自己有用感 <input type="checkbox"/> 成長する意欲	「成長したことは」 「この経験をどこで生かしたい」 「新しく解き明かしたいことは」

問いを生む力

考えを深める力



行動に移す力

【2年生の実践】

1 単元について

本単元では、1年生で追究してきた「二川の宝って何だろう？」から、地域の施設で働く人や地域のために働くこと（＝すなわち「本陣まつり」）に焦点を当てて追究活動を行った。「働くことって何だろう」では、身近な働く人から働く意義について学び、自分の職業観を広げることがをねらいとした。「二川の町おこしをしよう」では、地域の伝統を引き継ぐことを通して、地域の一員としての自覚をもつことをねらいとした。職業観を広げ、地域社会の一員としての自覚をもった生徒たちが、これから自分たちに何ができるのかを考えていく姿を期待したい。

2 てだてと考察

2年 「二川で生きる」－働くことって何だろう－ (70時間)	
年間指導計画	主な活動
<p>【1学期】</p> <p>■働くことって何だろう <テーマを決める> ・二川の宝って何だろう、から働くことについてテーマを決める <調査する> ・本やインターネット ・現地調査 ・マナー講座 ・働く人に学ぶ会（講演会）・・・A <まとめをしよう> ・レポートにまとめる</p>	<p>【A】働く人に学ぶ会 ・さまざまな職業の「やりがい」や「働く理由」について追究できるように、本やインターネットで職業についての調べ学習を行ったり、実際に地域で働いている人の話を聞いたりする場（働く人に学ぶ会）を設ける。</p> <p>➡本やインターネットで「やりがい」や「働く理由」について調べ、働く人に学ぶ会を通して、「やりがい」や「働く理由」についての新しい視点に気づいたり、お金や生きるためではなく、その職業のやりがいを改めて再認識したりできた。</p> 
<p>【2学期】</p> <p>■二川の町おこしをしよう・・・B <テーマを決める> ・二川の宝って何だろう、から本陣まつりについてテーマを決める <調査する> ・本やインターネット ・現地調査 ※本陣資料館や駒屋の見学 ・ゲストティーチャーによる講話 ※学芸員のかた、前田さん ※本陣まつり実行委員会のかた ・本陣まつりに参加しよう</p>	<p>【B】二川の町おこし ・「本陣まつり」が中止になったことを伝えるとともに、本陣まつり実行委員会のかたの思いを聞く場を設定した。</p> <p>➡「本陣まつり」を支える人たちの思いを知った生徒たちは「中止になった本陣まつりのために、何かできないか」という思いをもった。「資料館へ調査に行きたい、学芸員さんに質問したい、直接まつりに関わりたい」など、各々が考えた方法での追究が始まった。奴踊りなどを体験することで、今年は、自分たちの手で本陣まつりを実施しようと考え、リハーサルを繰り返している。</p> 
<p>【3学期】</p> <p>■働くことについてまとめよう <発表会をしよう> ・本陣まつりを実施・・・C ■「二川を語る」に向けて <二川に貢献しよう> ・地域のしていることは何だろう ・自分に何ができるだろう</p>	<p>【C】本陣まつりを実施 ・実際に自分たちで企画した本陣まつりを実施する。見に来てくれたかたから拍手をもらった生徒は、地域の伝統を引き継ぎ、周りに伝えていこうとするなど、積極的に社会に参画しようとする意欲を高める。</p> 

3 成果と今後の課題

1年生で追究してきたことから「働くこと」「本陣まつり」をクローズアップして詳しく追究することで、考えを深めることができた。例えば、自分の調べたい職業について追究を進めるのではなく、違う職業についても追究を進めていくことで、自分の調べたい職業についてのよさややりがいについて深く知ること（＝考えを深めること）ができた。今後は、深めた考えを、未来の創造に向けてどのようにつなげていくか、生かす場をどのように設けていくかを考える必要がある。

「二川を語る」～二川から社会参画～

概要：2030年を達成年限とした、持続可能な開発目標「SDGs」が、17の目標と169のターゲットとして構成され、メディアでも大きく取り上げられている。そこでSDGsについて学び、世界が抱える問題の存在を理解した生徒に、豊橋・二川が抱えている問題がないか見つめられるようにしていく。生徒は、郷土の問題を自分事として捉え、問題の解決に向けて動きだす。

	段階	活動	生徒の様子	コーチング	
① 見いだす段階	準備	<ul style="list-style-type: none"> SDGs 出前授業 身近な SDGs 四つの探究プロセスを知る 	<ul style="list-style-type: none"> SDGs について理解する 現実を見つめ、直面している問題があるか予想する 今年の総合的な学習の時間について理解する 	<input type="checkbox"/> 論理的に考える <input type="checkbox"/> 問題に気づく <input type="checkbox"/> 社会性の芽生え <input type="checkbox"/> 俯瞰する	「今現在はどうか」 「身の回りはどうか」 「未来はどのような未来か」
	目標決定	<ul style="list-style-type: none"> SDGs フォトコンテスト テーマ「二川から社会参画」を知る 「問い」から「具体的な目標」をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> SDGs に関係する（社会問題）写真を撮ってくる（タブレット） 「なぜ〇〇なのか」「〇〇が危ない」などの「問い」を生む 「問い」から目的「今の〇〇はこうだから、こうしたい」をつくる 目的を叶えるための目標（そのために〇〇をつくる）を考える 	<input type="checkbox"/> 問いを生む <input type="checkbox"/> 目標を設定する <input type="checkbox"/> 協働する意識 <input type="checkbox"/> 主体性の芽生え	「それは何のために」 「そうするために、具体的には何を」
	計画立案	<ul style="list-style-type: none"> 限られた時間でできることに優先順位をつけ計画する 似たような目標でグループを作る 	<ul style="list-style-type: none"> 目標（個人テーマ）を決定する 目標を達成するために必要な情報や作業を洗い出す 夏休みにできることを計画する 時間配分や優先順位、担当者を決める 	<input type="checkbox"/> 先を見通す <input type="checkbox"/> 結果を想像する <input type="checkbox"/> 適切な判断 <input type="checkbox"/> 礼儀やマナー	「絶対にやらなければならないことは」 「優先順位を決めてみたら」
② 解き明かす段階	情報収集	<ul style="list-style-type: none"> 問題の現状を探る 解決策を生み出す手がかりを探す フィールドワーク アンケート調査 インタビュー活動 	<ul style="list-style-type: none"> フィールドワーク（事例・現状・仕組み・本音） 書籍、インターネット 街頭インタビュー アンケート、手紙、ファックス 体験、観察、実験 	<input type="checkbox"/> 情報収集する <input type="checkbox"/> 見極め判断する <input type="checkbox"/> 分類する <input type="checkbox"/> 多面的な見方	「その情報はどこにあるの」 「あなたが使えるものは何」 「だれの意見が必要」
	解決策	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決する策を生み出す 具体的にどんなことをするのかを考える 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的に「こうすればいい！」という考えを生み出す 原因を取り除く、という発想 新たに創造する、という発想 仕組みを変える、という発想 	<input type="checkbox"/> 分析・比較する <input type="checkbox"/> 発想する <input type="checkbox"/> 柔軟に対応する <input type="checkbox"/> 創造する	「他の意見や見方はないか」 「どんな方法で伝えたいか」 「すでに取り組みされていることはないか」
	制作	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーション準備 制作物 	<ul style="list-style-type: none"> 得た情報を、図やグラフに表してみる わかりやすく端的な文章に表す 視覚にうったえるような制作物 	<input type="checkbox"/> 表現する <input type="checkbox"/> 情報を活用する <input type="checkbox"/> 図・表・グラフを活用する	「だれのためにプレゼンするの」 「効果的に伝える方法は何かある」
③ 動きだす段階	プレゼン再構築	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの未来を語る会（シポジウム、パルティスセッション） 説得力のある表現にする 自らの改善点 考えの再構築 	<ul style="list-style-type: none"> 友達（学級・学年）に対して提案をする 評価や感想をもらう 提案したい対象（学校・地域・自治体）を広げる 	<input type="checkbox"/> コミュニケーション <input type="checkbox"/> 聞き手を意識する <input type="checkbox"/> 他者を評価する <input type="checkbox"/> 他者から学ぶ	「よりよい表現方法は」 「その理由は何か？原因は何か」
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ポートフォリオのまとめ 自分の成長や身についた力の自覚 新たな「問い」を生み出す 	<ul style="list-style-type: none"> 成果をレポートにまとめる 	<input type="checkbox"/> 成長を評価する <input type="checkbox"/> 自己有能感 <input type="checkbox"/> 自己有用感 <input type="checkbox"/> 成長する意欲	「成長したことは」 「この経験をどこで生かしたい」 「新しく解き明かしたいことは」

問いを生む力

考えを深める力

行動に移す力

【3年生の実践】

1 単元について

3年生では、「二川を語る」—二川から社会参画へ—と題して、社会を支えるために自己の生き方を見つめ、考える生徒の育成を目ざして実践を行った。SDGsをきっかけに、世界の問題を理解し、身近な問題に目を向け、疑問に感じたことや調べたいと思ったテーマについて調べ学習を進める。調べ学習を進めるとさまざまな問題を知ることができる。その中から、自分たちにできることを考える。そして、具体的な方法を模索し、取り組んでみる。この発信が、未来を創造するために動きだすことへとつながると期待したい。

2 てだてと考察

3年 「二川を語る」—二川から社会参画へ— (70時間)	
年間指導計画	主な活動
<p>【1学期】</p> <p>■二川の地域は何をしているだろう <テーマを決める></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習から ・SDGsについて、二川がどれくらい達成しているのか・・・A ・自分にできそうなことから <p><調査する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネット ・企業訪問（修学旅行） ・ゲストティーチャーによる講話 	<p>【A】SDGsをテーマに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs フォトコンテストを開催することで、世界には17の達成すべき課題が存在することや、同様の問題が身近にも存在することを実感できるようにした。 <p>▶生徒はSDGsの達成すべき課題と、地域の課題とを結びつけはじめた。「身近な問題」に気づいた生徒は原因究明に動きだした。問題意識に応じてグループを作り、追究活動が始まった。</p> 
<p>【2学期】</p> <p>■二川の未来を語る <二川の未来について考えてみる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを決める ・地域の社会貢献活動、SDGsへの取り組みから、自分ができていることをテーマにする <p><調査する>・・・B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネット ・インタビュー活動 ・現地調査 <p><まとめをしよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの準備をする ・私たちの未来を語る会 	<p>【B】現地調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インターネットで調べた内容と実際の声が違う」や「地元に住む人の生の声が聞きたい」という生徒の必要感に応え、合計3日間の調査日を設定した。 <p>▶多文化共生について研究しているグループはブラジル人学校を訪問し、文化の違いや生活習慣、豊橋市は住みやすさ等の取材をした。また、交通事情に問題意識をもったグループは信号機の切り替わりのタイミングをグラフ化したり、自動車を減速させるために、目の錯覚を利用した啓発方法があることを知ったりした。</p> 
<p>【3学期】</p> <p><発表会をしよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での発表をする ・HP上で地域へ発信する <p>■わたしたちにできることとは・・・C</p> <p><これからやっていきたいこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校に恩返しをする ・地域に感謝をする 	<p>【C】成果の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果物の発表や、調査結果の発表を行う。 <p>▶環境保全や町おこしに貢献したいという意欲が高まり「海に優しい料理レシピ」や、「二川まちあるきマップ」を制作し地域に還元した。また、二川の交通事情に問題意識を抱いていたグループは、駐車場にイメージハンブを制作し、交通安全に貢献した。</p> 

3 成果と今後の課題

地域の活性化や交通安全のために、自分たちで考え行動し、楽しみながら地域に貢献しようという意識を育むことができた。今後は地域に貢献したり提案したりすることが、自己有用感・有能感の涵養に有効であるかを検証していきたい。